

JIS

ゴム引布及びプラスチック引布試験方法一 第3部：物理試験（応用）

JIS K 6404-3 : 2020

令和2年6月22日 改正

日本産業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

日本産業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千葉 光 一	関西学院大学
(委員)	大野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	小川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	倉品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会
	斉藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和 広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	中川 勝 博	一般社団法人日本分析機器工業会
	中島 眞 理	一般社団法人日本ゴム工業会
	中村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	花村 美 保	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	広瀬 晋 也	石油連盟
	保倉 明 子	東京電機大学
	松永 直 樹	拓殖大学
	森川 淳 子	東京工業大学
	山崎 初 美	主婦連合会
	山田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 11.7.20 改正：令和 2.6.22

官 報 掲 載 日：令和 2.6.22

原案作成協力者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 試験の種類	3
5 試験の一般条件	4
6 防水試験	4
7 はっ水試験	9
8 水浸試験	11
9 ガス透過試験	11
10 耐熱試験	19
11 耐寒試験	20
12 ブロッキング試験	26
13 透湿試験	27
14 燃焼試験	29
15 耐液試験	29
16 吸水試験	33
附属書 A (参考) ガス透過試験, ガスクロマトグラフ法 (等圧法)	39
附属書 B (参考) 耐液試験の試験用液体	42
附属書 C (参考) 耐液試験の浸せき温度	45
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	46
解 説	49

まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 6404-3:2015** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS K 6404 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS K 6404-1 第1部：基本特性（標準雰囲気及び引布の寸法並びに質量の測定方法）

JIS K 6404-2 第2部：物理試験（基本）

JIS K 6404-3 第3部：物理試験（応用）

JIS K 6404-4 第4部：耐久試験

ゴム引布及びプラスチック引布試験方法— 第3部：物理試験（応用）

Testing methods for rubber- or plastics-coated fabrics— Part 3: Determination of physical properties (Application)

序文

この規格は、2016年に第4版として発行された **ISO 1420**、2017年に第3版として発行された **ISO 4675**、1990年に第2版として発行された **ISO 5978**、2005年に第1版として発行された **ISO 6450** 及び2015年に第2版として発行された **ISO 7229** を基とし、対応国際規格には規定されていない日本独自の試験法規格〔はっ水試験、水浸試験、耐寒試験（低温落すい試験及び低温ねじり試験）、耐熱試験、透湿試験、燃焼試験及び吸水試験〕も取り込み、使いやすくするため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、ゴム引布及びプラスチック引布（以下、引布という。）の物理試験（応用）について規定する。

なお、物理試験（応用）は、防水試験、はっ水試験、水浸試験、ガス透過試験、耐熱試験、耐寒試験（低温曲げ試験、低温ねじり試験及び低温落すい試験）、ブロッキング試験、透湿試験、燃焼試験、耐液試験及び吸水試験である。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1420:2016, Rubber- or plastics-coated fabrics—Determination of resistance to penetration by water

ISO 4675:2017, Rubber- or plastics-coated fabrics—Low-temperature bend test

ISO 5978:1990, Rubber- or plastics-coated fabrics—Determination of blocking resistance

ISO 6450:2005, Rubber- or plastics-coated fabrics—Determination of resistance to liquids

ISO 7229:2015, Rubber- or plastics-coated fabrics—Measurement of gas permeability

（全体評価：MOD）

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格に基づいて試験を行う者は、通常の試験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用者に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な処置をとらなければならない。